



7月保育所だより

令和4年6月30日
桑折町醸芳保育所

木々の緑が目にしみる季節となりました。保護者の皆様には日頃より保育所運営にご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、6月13日～20日にかけて実施しました保育参観に、お忙しい中ご参加頂きましてありがとうございました。短い時間でしかも降所活動の一端ではありましたが、子どもたちの保育所生活の一部をご覧頂けたかと思えます。保育所としましては、保育参観によって保護者の皆様の「安心」に繋がれば幸いです。参観期間中減少していた新型コロナウイルス感染者数が、ここ数日で少しずつではありますが増加しております。このような中ではありますが、保育所のやるべきことはこれまでと同じです。今後も感染対策をしっかりと行って、子どもたちを守ってまいります。

6月の中旬は暑い日が続き、たらいやビニールプールの水に嬉しそうにはしゃぐ声が聞かれたり、泥遊びに熱中する姿が見られたりしました。梅雨入りしてからは蒸し暑いものの天気が安定せず、十分に水遊びを行うことができませんでしたが、昨日例年より20日も早く梅雨明けしました。

今年は暑く長い夏になりそうです。保護者の皆様には、子どもたちの健康管理、今後もどうぞよろしく願いいたします。

<今月の保育の目標>

0歳児

- 水遊びなど、夏ならではの遊びを楽しむ。
- 水分や休息を十分に取りながら、健康に気を付けて過ごす。

1歳児

- 暑い夏を健康で快適にゆったりと過ごせるようにする。
- 水や砂などの感触を味わいながら、夏ならではの遊びを楽しむ。
- 保育者に見守られながら、自分の思いやして欲しいことを伝えようとする。

2歳児

- 休息を取りながら、暑い夏を健康で快適に過ごす。
- 簡単な衣服の着脱や始末の仕方を知り、できるところは自分でしようとする。
- プール遊びや泥遊び、色水遊びなど、夏ならではの遊びを保育者と一緒に楽しむ。



<7月の行事予定>



7日(木) 七夕集会
26日(火) 避難訓練
28日(木) 誕生会

<8月の主な予定>

3日 スイカ割り
24日 避難訓練
25日 誕生会



今月の合同保育室も、ちゅうりっぷ組です。

< 保育所からのお知らせ・お願い >

【職員の人事について】

たまご組の遠藤樹先生が7/5より産休に入ります。7/1より木村三奈先生が採用され、たまご組の担任に加わります。

【プール・水遊び】

プール・水遊びを実施するかどうかは、気温や天候を見て保育所が判断します。服薬や、皮膚症状等お子さんの体調から、水遊びができないと判断した日は、その旨を連絡帳に記載してください。

【毛布と上履き】

午睡用毛布と上履きを持ち帰ります。夏場は使用しませんので、自宅で保管してください。冬に使用する際、またお知らせします。

【実習生受入れ】

7月28日～8月10日まで実習生を2名（福島学院大学及び福島学院大学短期大学部各1名）受け入れます。感染対策を実施したうえで受け入れをしますので、ご理解とご協力をお願いします。

【駐車場の利用】

駐車場の住宅・フェンス・壁に面している場所への駐車は、**前進駐車**をお願いします。また、駐車場内は徐行で、安全に走行してください。停車中は、エンジンを必ず切ってください。

< クラスより >

たまご組



先日は保育参観においでいただきありがとうございました。いつもと違う雰囲気なので、ほとんどのお子さんは泣いてしまうかな、と心配していましたが、ママやパパと一緒にいることで安心し、泣かずに活動することができました。リズム遊び、手遊びはぜひ、おうちでも遊んでみてくださいね。

6月は天気の良い日は戸外に出て散歩や探索を楽しみました。カートやベビーカーに乗り、保育所と幼稚園の間の道路や小学校の周辺などを散歩すると、景色やすれ違う車に興味津々できょろきょろとあたりを見回していました。一人で歩けるようになったお子さんは、外靴を履いて探索を楽しんでいます。小さな段差もまだ不安定ですが、手をつないで登ったり、降りたりできると、とても嬉しそうな表情が見られました。

これからの季節は、戸外遊びと共に、天候によっては湯水遊びも取り入れて、心地よく過ごせるようにしたいと思います。



ちゅうりっぷ組

先日の保育参観には、お忙しい中、お越しいただき、ありがとうございました。いつもとはちょっと違う、おうちの人と一緒に活動に子どもたちも嬉しそうでしたね。

寒暖差が大きかった6月は、風邪をひいてしまうお友だちも多かったですが、今月は、暑い日には水遊びができたらいいなと思っています。



すみれ組

水遊びが始まる前に着替えの練習として、ズボンやオムツを自分で上げ下げできるように教えていました。ウエストのゴムの所をつかみ「グーン」とかけ声をかけると、力を込めて上げてくれる子が増えてきました。引き続き練習をしていきます。

手遊びも覚え、真似たり、一人でしたり楽しんでいました。トントンアンパンマンがみんな気に入っているようです。

急に暑くなりましたが、水遊びに向け体調管理に気を付けて過ごしていきたいと思います。



ゆい組



自分のマークや荷物の場所を覚えてきて、保育者の手伝いが無くても自分で持ち物の準備や片付けなどできるようになってきました。自分一人のできることが増えてきて「一人でできたよ！」と嬉しそうな笑顔です。

所庭や遊戯室では、遊具に挑戦し太鼓橋や肋木など「やってみたい！」と挑戦する姿が見られるようになってきました。子ども達のやりたい気持ちを受け止めながら、やり方を教えていきたいと思います。また、保育者と一緒に追いかけても楽しんでいきます。子ども達との触れ合いを楽しみながらのびのびと体を動かせるようにしていきます。

暑くなり、水遊びなど夏ならではの遊びが楽しめるようになってきました。体調に気を付けながらも、水遊びや泥遊びなど全身で開放感を味わいながら楽しんでいきたいと思います。

ひまわり組

泥遊びの季節がやってきました！泥遊び用のパンツに着替えて、泥遊びにも挑戦しました。裸足になって庭に出ると「うわあ～」と喜んで遊ぶ子とソロリソロリとやっと歩いている子、一歩も動かずにじっとしている子、ダイナミックに水たまりの中でジャンプをする子の姿と様々な姿が見られました。ジャンプをしている子には「先生、おいで～！こうやるんだよ～!!」と水たまりの中でジャンプをするやり方を教えられました。(笑)



さくら組



お友達への関心が少しずつ出てきて、顔を見合わせたり、一緒の場で遊んだり、簡単な言葉でやり取りをしたりして、喜んで関わる姿が見られています。しかしまだまだ言葉でうまく伝えることは難しく、時にはけんかをしてしまうこともあります。その都度、「かして」「終わったらね」「待っててね」「ありがとう」など、思いを言葉にできるよう、保育者が仲立となっているところです。けんかや一緒に遊んで楽しかったという経験から、お友達との関係や言葉での伝え方などを学んでいる子ども達です。遊びでは、泥や水、小麦粉粘土などの素材に触れて遊ぶことを楽しみました。他にも色々、素材に触れて遊ぶ活動を計画していますので、子ども達と一緒に楽しんでいきたいと思ひます。写真は、紫陽花のスタンプを押しているところです

家庭生活ポイント「生活リズム」「あいさつ」「読書」…より

子どもが大人になる未来の世界から考える

「今の子どもが本当に必要な教育」

今のこどもたちが働く 2040 年頃、AI やロボットと共存し、機械が定型化された仕事を担う社会において、人間に期待されるのは、人の気持ちを汲み取ったり、新たなアイデアを発想したりといった「**人間らしさ**」です。未来の社会において、人間は創造力や対人能力、判断力が必要とされるわけですが、このような「人間らしさ」や「創造性」というものは机の上で勉強して見につくものではありません。

コミュニケーション能力や主体性、問題解決能力といった数値化できない人間的な能力の事を総称して「**非認知能力**」といいます。一方で、「漢字がかける」「足し算や引き算ができる」といったような点数で評価できる能力を「**認知能力**」といいます。創造性などの「**人間らしさ**」を形作る能力は「**非認知能力**」に分類されます。

子どもの非認知能力を伸ばすにあたって難しい事は、「具体的にどうすればこれらの能力が伸びるのか、子どもによって違う」ということです。子育てに「正解」がないのと同様に非認知能力の育成においても万人に共通する方程式はありません。しかし、確実にいえることは、全ての能力の基礎になるのは「**考える力**」だということです。「考える力」が育てば、それらが創造性や批判的思考能力、問題解決能力といった非認知能力に繋がっていくのです。考える力を伸ばすためには、考える機会をたくさん与えてあげる事です。それには、「**経験させてあげること**」と「**子どもを認めること**」の2つが重要です。

⇒ 8月保育所だよりに、つづく。

出典：健康教育 2022年4月号

